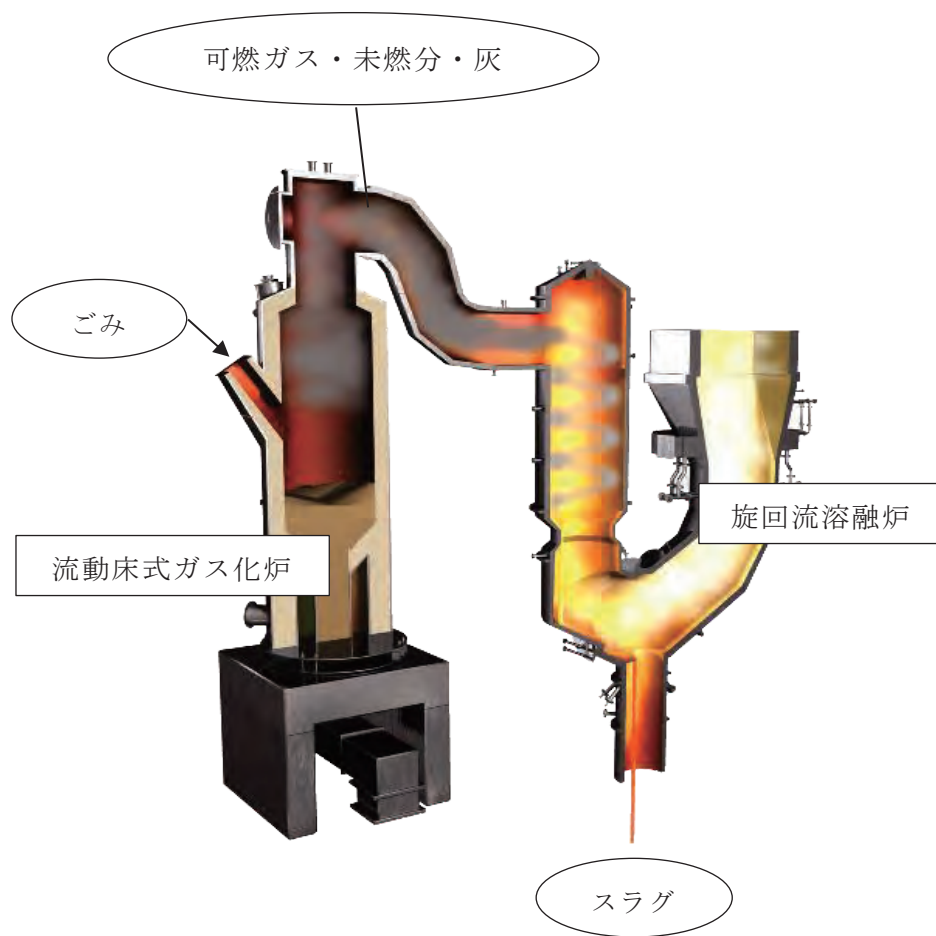


整理 No.	16	分類	その他（溶融スラグ）	
会社名	株式会社神鋼環境ソリューション			
担当者	環境プラント技術本部 SPC 管理室長 藺田 雅志			
連絡先	TEL	078-261-7061	FAX	078-261-2166
	E-mail	m.sonoda@kobelco-eco.co.jp		
技術の名称	溶融スラグ細骨材			
概要 (150字程度)	家庭ごみなどの一般廃棄物を流動床式ガス化溶融炉で溶融処理する際に、副産物として溶融スラグが発生する。この溶融スラグを磨砕・分級等の処理により骨材化し、JIS A 5031、JIS A 5032 に規定される品質を満足することが確認されたものは、コンクリート二次製品用、道路用の溶融スラグ細骨材として有効利用が可能である。			
技術登録等	—			
技術の概要	<p>流動床式ガス化溶融炉は、流動床式ガス化炉と旋回流溶融炉で構成される。まず、流動床式ガス化炉でごみを可燃性ガス、未燃分および灰に熱分解する。これらは旋回流溶融炉に供給され、そこへ燃焼空気が供給されることにより、可燃ガス、未燃分が完全燃焼して 1,200℃以上の高温となる。灰はこの高温により溶融されスラグとなって炉の下部にある出滓口から連続的に出滓される。出滓したスラグはスラグ冷却水槽へ直接落下させ急冷固化し、磨砕・分級処理により骨材化する。</p> <p>骨材化されたスラグは、JIS A 5031 及び JIS A 5032 に規定されたロット管理、サンプリング及び分析を行い、JIS A 5031 の MS5、JIS A 5032 の FM-2.5 の規格を満足するものを出荷する。</p> <p>なお、流動床式ガス化溶融炉は、ごみが保有するエネルギーを利用した自己熱溶融方式であり、溶融のための電気や燃料などの外部エネルギーが不要で、生成される溶融スラグは環境にやさしい土木資材と言える。</p> <p>東北地方では、①仙南クリーンセンター（宮城県仙南地域広域行政事務組合殿から運営委託、ごみ処理能力 200t/日、スラグ生産量平均約 12t/日）、②エネルギー回収施設（川口）（山形県山形広域環境事務組合殿から運営委託、スラグ生産量平均約 5t/日）の 2 施設が稼働中。</p>			
次頁 あり・なし				

技術の概要  
(つづき)



流動床式ガス化溶融炉概要